

令和4年度 専門分野

科目名	精神看護学	単位(時間)	5(155)	27期生	DP
担当講師名	専任教員 他			1年～3年	1・2・3・4
科目設定理由	<p>精神看護学は、精神に健康問題をもつ人への看護について学習します。こころの健康と精神看護では、こころの健康に関する知識を持ち、人々の発達段階や生活の場におけるこころの健康と危機、身体疾患患者の心理的問題と医療従事者のメンタルヘルスについてのケアを学習します。精神医学の基本では、精神疾患の理解と検査や治療について学習します。精神看護援助論では、精神に健康問題をもつ人の回復に向けた看護を学習します。対人関係の技術を基に、対象を理解し、精神に障害をもつ人が処遇されてきた歴史を辿りながら、現代を生きる精神障害者の現状と課題を捉え、看護を提供する上で必要な倫理観を育てながら、対象のもてる力を活かしたその人らしい生活支援について考えていきましょう。</p>				
科目構成	科目名	こころの健康と精神看護	精神医学の基本	精神看護援助論	
	単位時間	1単位 20時間	1単位 15時間	1単位 30時間	
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> <li>こころの健康とメンタルヘルス</li> <li>精神看護の機能と役割</li> <li>コンサルテーション・リエゾン看護</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>主な精神疾患と検査・治療</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>主な疾患・状態・治療・処置別看護</li> <li>精神科リスクマネジメント</li> <li>精神科リハビリ・社会復帰支援</li> <li>精神看護の技術を用いた援助方法</li> </ol>	
	科目名	精神看護学実習			
単位時間	2単位 90時間				
実習のねらい	<p>精神看護学実習では、精神に障害のある対象とのかかわりを通して、対象の思いに寄り添い、その人らしい生活を送れるための看護を考えていきます。そして、対人関係を基盤とした生活援助を行うために、対象との人間関係を形成することが原則となります。</p> <p>実習前半では、対象が日常生活でどのような生活のしづらさ(難しさ)を体験しているのかを、対象のこれまで歩んできた人生に関心を持ちながらかかわりましょう。そして、精神疾患が日常生活に及ぼす影響を捉えていきましょう。また、対象とかかわった場面を振り返り、自分の表現に対する対象の反応の意味を考えたり、自分自身の対人関係パターンに気づくことができるとういでしょう。さらに、対象に対する自分の影響など、看護師が治療的環境になることも理解していきましょう。</p> <p>実習後半では、対象の日常生活のしづらさを緩和するために必要な支援を考えていきます。学内で学んだオレム-アンダーウツのセルフケア理論モデルを踏まえ、対象の意思を尊重し、健康的な側面に注目しながら、セルフケアの不足部分への支援を考えていきましょう。また、患者の生活している特殊な治療環境について学び、医療、看護と人権について考えたり、地域で生活する精神障害者の暮らしをみることで、社会復帰に必要な課題についても発展的に考えられると良いですね。</p> <p>実習を通して皆さんは、対象とかかわる体験から多くの学びと成長を得ることでしょう。対象との出会いや別れ、その時・その場で行った看護体験を大切に実習していきましょう。</p>				